

## 社内募金（「朝日の月」 醸金）の寄付について

朝日生命保険相互会社（社長 木村 博紀）は、当社および関連会社役職員等による募金（「朝日の月」醸金）を、社会福祉などの分野で活動する10団体へ各々53万円（総額530万円）寄付いたします。

※寄付団体の一覧は下記を参照

「朝日の月」醸金は、1958年、当社の創立月である7月を「朝日の月」と定めたことをきっかけに「生命保険事業の社会公共性に鑑み、社会事業にいささかなりとも貢献していく」という趣旨のもとで開始し、これまでの累計額は3億5,300万円に上っており、今年で62回目の寄付となります。

当社は引き続き、当社の経営理念である「まごころの奉仕」のもと、様々な社会貢献活動を積極的に推進し、「お客様から信頼され、選ばれ続ける会社」を目指してまいります。

団体名（五十音順）	活動内容
NPO法人 <b>子育てひろば全国連絡協議会</b>	全国7,500か所の地域子育て支援拠点において様々な課題を抱える乳幼児家庭を支援する実践者に対し、研修や情報提供、人材育成、ネットワークづくりを行っている。
<b>こども食堂ネットワーク</b>	全国の「こども食堂」（経済的に困難な状況の子どもたちへの支援を目的に、こども1人で利用でき、無料または少額で食事できる場所）を運営している方々のネットワークの場として、情報発信や講座等を行っている。
一般財団法人 <b>児童健全育成推進財団</b> 「朝日生命伸びゆく子ども基金」	児童館活動の支援、児童文化向上のための活動などを幅広く行っている。「朝日生命伸びゆく子ども基金」は、それらの活動の一環として「児童福祉文化賞」表彰などの支援を行っている。
特定非営利活動法人 <b>全国移動サービスネットワーク</b>	移動・外出が困難な方を支援する移動サービスの実施団体等によって構成されるネットワーク組織で、国交省等への政策提言や運転者研修、書籍発行、セミナー等の開催・調査事業を行っている。
特定非営利活動法人 <b>日本移植支援協会</b>	臓器移植を望む患者さんやその家族のための支援として、募金活動や移植後の治療支援として患者さんやその家族が借りる住居にかかる家賃の補助などを行っている。
一般社団法人 <b>日本いのちの電話連盟</b>	日本で初めてボランティア相談員による、自殺予防を目的とする電話相談として開設。この市民運動を全国に展開するために、その中心的役割を担う組織として結成された。49センター、約6,200名の相談員が活動している。
認定NPO法人 <b>日本NPOセンター</b>	全国の民間非営利組織の基盤強化のため、ICT支援、研修・交流、NPOに関わる法制度の整備、企業や行政とのパートナー構築などの事業を行っており、東日本大震災等の災害時には、それらを活かした復興支援を行っている。
一般社団法人 <b>日本介護支援専門員協会</b>	全国の介護支援専門員のネットワークの構築や介護支援専門員の資質の向上、その地位の確立に関する活動を行っている。また、保健医療・福祉との連携や災害発生時の要援護者支援を行っている。
公益社団法人 <b>日本聴導犬推進協会</b>	聴導犬および訓練士の育成やユーザー対応の充実を図っている。その他、聴導犬の普及啓発（広報活動の発展及び増加・ネット広報の発展・希望者の開拓・共感者の獲得）を行っている。
公益財団法人 <b>認知症予防財団</b>	認知症を心配している方や、家族を対象に無料の電話相談を運営。その他、シンポジウム開催、書籍発行などの認知症啓発活動を行っている。

以上